

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 7年 5月 27日</p> <p>大阪府知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 大阪府泉佐野市日根野1928番地 氏 名 泉佐野市上下水道事業管理者 木内 利昭 電話番号 072-467-2800</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	泉佐野市上下水道局 日根野浄水場
事業場の所在地	大阪府泉佐野市日根野1928番地
計画期間	令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3611 上水道業
②事業の規模	2,319,000m <sup>3</sup> （令和6年度取水量）
③従業員数	23人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・浄水施設 沈殿池での固液分離、急速ろ過池及び活性炭ろ過池の洗浄時に上水汚泥が発生する。</li><li>・排水処理施設 送泥されてくる汚泥の濃度を調整槽・濃縮槽・貯留槽にて増加させ、脱水機・乾燥機を経て乾燥汚泥を生産する。</li><li>・乾燥汚泥（有償売却） ゴルフ場の土等に使用されている。</li></ul> ※産業廃棄物発生工程フローシート参照。

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	排出量	5172 t	— t
	(これまでに実施した取組) 令和6年度は、前年度よりも年間自己水取水量が5%程度少なかったが、ベルトプレス脱水機での脱水汚泥生産能力が低下している為、計画値を大きく上回った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	排出量	1500 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 令和6年度後半に、ベルトプレス脱水機の点検整備を行い目標値に近づけるよう努力している。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上水汚泥については、泉佐野市上下水道局水道工務課が管理を行い、運転管理業務内で発生する産業廃棄物については、委託業者に発生から処分に至るすべての過程において、連絡及び指示等を行っています。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を維持します。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	61 t	— t
	（これまでに実施した取組） ゴルフ場の土等として使用するものとして売却をしています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	70 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 平成16年度より、ゴルフ場の土等として売買契約を行っており、できる限り有償売却を継続する予定です。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5111 t	— t
（これまでに実施した取組） ベルトプレス脱水機の脱水汚泥生産能力を改善し、産業廃棄物の減量化に努めております。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1430 t	— t
（今後実施する予定の取組） 今後もベルトプレス脱水機の点検整備等を行い、産業廃棄物の減量化に努めてまいります。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			

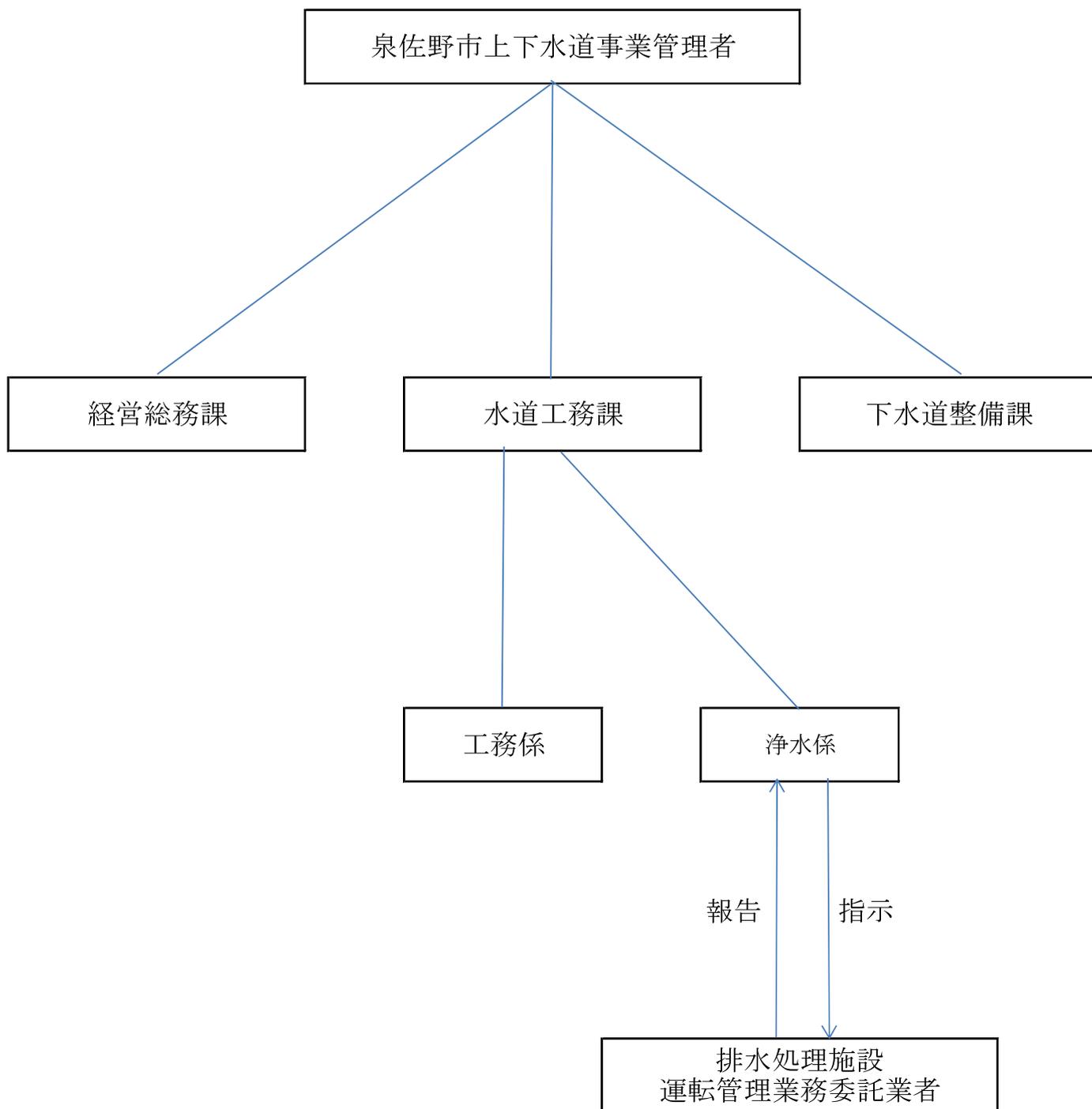
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	上水汚泥	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 泉佐野市上下水道局 管理体制図



# 産業廃棄物発生工程フローシート

